

川遊びで学んだこと

五か西小 五年 松本 虎

ぼくは、川遊びで学んだ事が三つあります。

一つ目は川遊びはふかけると死んでし

まう事になったがるという事をぼくは知りま

した。川遊びを始めるとまひはふかけてもだ

じゅうぶたううと思っるといたけど、実は川

に行くとめると思っるとたよりも流水は急

た。しかも目で見ると流れより足で感じる流

る方が速く、川はこわい人となという事が分

かりました。

二つ目は、川はしずんでしまいうという事

です。その時はジュツトスキーをし、このこ

ろくししまい、ライジャケツを着て

たから安全ではあったけど、それが落ちた

時はおせつてしまいうまくうく事ができま

る。おせつた。頭の上まで川にもぐつてしま

数びょうの間おぼれ、しまひました。ライ

ジャケツを着て、おぼれ、おぼれ、おぼれ、

川に落ちた時はおせつ、冷静になる事が大切

がと、いう事が分りました。この時、川の水は海の水よりも体がつまにくいいう事も知りました。

三つ目は、川遊びはこわい事だけれど、最終的には川遊びはやっほり楽しんだという事です。川遊びはみんな事をしと遊べます。うまわぶういたりもぐたり、ジエツトスチーふ川がら海へ行く事もできます。お昼には人はバベキをしろお肉をいっほい食べたりまそはを食べてハ食べ終わればまた川で

遊んです。川遊びには定番、ぼくが割った時は、すこくうれしいし、ちがう人が割った時は、すこくわしかったです。割れるまふ赤いすいかか黄色のすいかか分がらなのもすいか割りの楽しいところですよ。ぼくは、川遊びをしたとき、土人の事を学びました。毎年川では、何人の人が死んでいきます。そうです。川は本当は楽しい所です。みんな、正しく川遊びをし、一人でも多く、悲しまな

が減ってほしいです。